

YAコーナーで人気の作家さんコッソリ紹介



第一回：有川浩さん

あひかわひろし

誕生日：1972年6月9日 高知県出身

代表的な作品：『図書館戦争』、『フリーター、家を買う』、『キケン』など

☆有川浩さんってどんな人？☆

有川浩さんは2003年に『塩の街 wish on my precious』で第10回電撃ゲーム小説大賞を受賞。翌年にその作品で小説家デビューしました。

名前が「ひろし」とも読めるので男の人と間違えられることが多いようですが、女の人ですよ！

作品の中には『図書館戦争』『フリーター、家を買う』、『三匹のおっさん』などドラマ化・映画化された作品も多いです。

YA世代の人にも読みやすいライトノベルのような文章で書かれた作品が多いですが、普段ライトノベルを読まない年代の人にも読んでもらうために、表紙にアニメっぽいイラストを使用していないそうです。(日経ビジネスオンライン「ライトノベルを買う大人は恥ずかしいか？」2007年2月23日)

『キケン』 有川浩/著新潮文庫 (913.6/アカ/YA)

キケン＝機械制御研究部/危険

いろいろな意味でキケンな理系男子たちのドタバタ青春コメディ。

どれくらいヤバいかというと…

- 小学3年生のとき火薬実験で自宅をぶっ壊しかけた爆弾狂、上野
- 怒ると爆弾狂でも手に負えない“大魔神”（空手黒帯）大神
- サークルの部屋は歴代部員の手により冷暖房完備、冷蔵庫有り、ロフト付き、泊り込み可能という魔改造済み

どんなサークルなのか、ちょっと覗いてみませんか？

図書館からのオススメ！